

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-10 行旅病人死亡人援護事業				ザイムスコード及び個別事業名	
		□支援部門				12
主管課	生活福祉課		関連課			
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	行旅病人及び行旅死亡人取扱法第2条の行旅病人の救護及び同法第7条による行旅死亡人の援護等を行う。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	612千円	790千円		指標と評価	
	(国・県)	612千円	221千円			
	(負担金等)				指標	
	(一般財源)	0千円	569千円		評価	
	人員配置数	0.2人	0.4人			
	人件費	1,842千円	3,750千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	協働の パートナー	無	無		目標値	実績値
事務事業 運営経費	総事業費	2,454千円	4,540千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	14円	26円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				23年度	
					最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 遺骨の保管のあり方について、引き続き検討を行う必要がある。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 保管場所の適切な管理に努めた。墓地への埋葬なども含め、保管のあり方を検討している。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 遺骨の保管のあり方について、引き続き検討を行う必要がある。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 県をはじめ、関係機関と協議を行いながら、引き続き検討を行っていく。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	遺骨の保管について、検討を行っていく。		評価結果	改善の必要性	事業の内容から継続することが必要である。 また、遺骨の適正な保管について、 検討を進めていく。
B	有			B	有	
課長名	生活福祉課長 曾根 健治			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子	